

「全集中で」!



～第1回全校一斉読書～

身延中学校伝統の「全校一斉読書」が5月28日、1校時に実施されました。

今回のテーマは「学校図書館に目を向けよう」

幅広いジャンルが揃った約12,000冊の蔵書の中から、事前を選んだ1冊を50分間集中して読みます。「あれ?今日は生徒は誰もいないの?」と錯覚するほど校内は静まりかえっていました。

大ブームを起こした『鬼滅の刃』(小説版)、本屋大賞候補にノミネートされた『押し燃ゆ』、直木賞を受賞した『少年と犬』など新しい作品を選んだ人、一方でドフトエフスキーの『罪と罰』や夏目漱石の『草枕』など日本・世界を代表する名作にチャレンジしている人まで、選ぶ本は実に十人十色でした。



校長先生も3年A組のみんなと一緒に
図書館で読書を楽しみました。

(生徒の感想用紙から)

読んだ本『明日の世界が君に優しくありますように』汐見夏衛/(スターツ出版)

以前読んだ『海に願いを 風に祈りを そして君に誓いを』の続きと知らず読んだけど、話がつながっていてすごく感動した。主人公やその周りの人の心情の変化がわかりやすく読みやすかった。主人公がどんどんかわっていく様子や、苦しい過去に触れ、周りの人が苦しむ様子はすごく泣きそうになった。クライマックスは、漣とユウさんが話したことがつながっていく。2人の気持ちが分かりすぎてすごく胸が苦しいけれど、感動した。いい本。

(3年B組 Rさん)

次回は6月25日 集団読書用テキストを読みます。